



立教大学
RIKKYO UNIVERSITY

Center



社会情報教育研究センター

for

Statistics

and

Information

◆各種お問合せ・ご相談はこちらへ◆

立教大学 社会情報教育研究センター

〒171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1 池袋キャンパス 8号館 4階

03-3985-4459 (代表)

csi-info@rikkyo.ac.jp

<https://spirit.rikkyo.ac.jp/csi>

https://twitter.com/Rikkyo_CSI

開室時間: 月～金 9:00～17:00 (立教大学が定める休暇期間・国民の祝日ほか臨時休業を除く)

大学院学生向けパンフレット

社会情報教育研究センター(CSI)が提供する研究・教育支援

社会情報教育研究センター（CSI）は全学的な統計的技法の普及と統計的思考力の涵養を目指し、より高度な研究・調査分析を行うための機会と研究基盤を提供します。客観的な事実に基づく意思決定と課題解決を行うために、調査・研究における正しい統計知識および調査設計手法が求められています。そうしたニーズに応えるべく、CSIが提供する研究・教育支援を紹介します。

1 統計関連セミナー

- CSI 統計活用 セミナー
「CSI統計活用セミナー」ではCSI統計学習コンテンツを活用し、公的統計データを使った分析、将来人口推計、経済波及効果分析を行います。
- 社会調査データ活用 セミナー
「社会調査データ活用セミナー」では、社会調査データの国内外のアーカイブの紹介や、既存の社会調査データの検索・入手方法を紹介します。また、当センターのデータアーカイブ（RUDA）所蔵のデータを用い、分析方法に関する実践的な講義も行います。
- 統計検定・統計調査士 対策セミナー
統計検定対策セミナーでは、2・3級に的を絞った試験対策を行います。また、統計調査士対策セミナーでは、過去の問題から出題傾向を読み解き、わかりやすく解説します。過去のセミナー動画はオンデマンドでも視聴できます。

2 統計学習コンテンツ・オンデマンドセミナー

- CSI 統計学習コンテンツ
 - 総務省統計局統計学習コンテンツ：すたなび（Official **S**tatistics **N**avigator）
 - 公的統計総合学習コンテンツ：すたまる（Official **S**tatistics Contents for **M**ulti-user）
 - 将来人口推計コンテンツ：ポコ（Future **P**opulation Projection **C**ontents）
 - 経済波及効果分析コンテンツ：リコ（**R**epercussion Effect Analysis **C**ontents）
- オンデマンドセミナー（Blackboard）
 - 「SPSS統計解析」Basicコース/SEMコース
：SPSSの起動方法、基本統計量、質的/量的変数の分析の方法、Amosの使用
方法、SEMによるモデル構築・分析
 - 「R統計解析」基本コース/多変量解析入門
：R/RStudioの起動方法から重回帰/分散/因子/クラスター分析まで



3 大学院学生が受講可能な CSI 提供科目（正課科目）

各授業は統計・調査リテラシーの基礎力向上を目指した内容です。このうち、ビジネスデザイン研究科の「統計学基礎1」及び「統計学基礎2」については、他研究科大学院学生でも履修可能です。

- CSI 提供科目一覧

提供科目	授業のねらい
ビジネスデザイン研究科「統計学基礎1」 併置科目：法学研究科「統計学特論」	統計解析法に関する基礎知識を習得するとともに、同時に統計学を体系的に理解することを目指す。比率や指数といった統計数値の加工指標の学習と、平均・分散・標準化といった基本統計量の理解といった基礎的な内容、相関係数・回帰分析・時系列分析などのいわゆる記述統計、区間推定・仮説検定といった推測統計まで、受講生自身が様々な場面で応用できるよう、幅広く扱う。
ビジネスデザイン研究科「統計学基礎2」 併置科目：法学研究科「社会調査特論」	社会調査の理論を概観し、仮説の構築や質問紙の設計など、社会調査の方法を理解するとともに、研究活動の基礎となるデータ収集スキル・調査リテラシー向上を目標とする。調査の企画・設計からデータの収集、分析に関する具体的な方法などについて習得する。

4 オンデマンド授業科目（随意科目）

全学共通科目のオンデマンド授業は、大学院学生にも開講されています。ただし、この科目は「随意科目」のため、大学院の修了要件単位に含めることはできません。

- 登録方法
各学期の科目コード登録期間または履修登録修正期間に履修登録システムにアクセスし、各自登録を行ってください。
◆<https://spirit.rikkyo.ac.jp/odc/Home.aspx>
- 受講方法の確認
受講方法は、全学共通カリキュラム履修要項「総合教育科目について」の中の「オンデマンド科目履修について」の項を事前に確認してください。

科目コード (大学院学生用)	科目名
FB990	社会調査入門
FB991	社会調査の技法
FB992	データ分析入門
FB993	データの科学
FB994	多変量解析入門
FB996	Introduction to Statistics 1
FB997	Introduction to Statistics 2

5 調査・研究コンサルティング

CSIでは、調査・統計手法や分析結果の解釈に関する疑問に対し、相談者のレベルやニーズに応じたコンサルティングを行っています。大学院学生も、調査・研究コンサルティングを受けることができます。

- 調査・研究コンサルティング申込～相談の流れ



- 注意事項

- コンサルティングは授業期間中のみ受付可能です。
- コンサルティングを受ける場合、具体的な研究テーマや調査データが必要です。あらかじめ、ご自身で調査プランや分析プランを練ったうえでコンサルティングを受けられることを推奨しています。
- 統計ソフトウェア（SPSS・R）に関する基本的な操作方法・データハンドリングについてはコンサルティングの対象外です。「CSI統計分析セミナー」または「社会調査データ活用セミナー」の受講を推奨します。
- お申込みの際、指導教授のお名前とご連絡先メールアドレスをお伺いします。

6 二次データの利活用支援

- 立教大学社会調査データアーカイブ「RUDA（ルーダ）」

全国の大学・研究機関で実施された学術的かつ統計分析可能な社会調査データを収集・整理・保存し、「立教大学 社会調査データアーカイブ "RUDA（ルーダ）"」として公開しています。社会科学系の調査データを幅広く扱っており、なかでも都市や地域社会における調査データの収集に力を入れています。利用方法などの詳しい情報はRUDA WEBサイトをご覧ください。◆<https://ruda.rikkyo.ac.jp>

- 公的統計情報の二次的利用支援

CSIでは、大学院学生による公的統計の「オーダーメイド集計」の申請支援を行っています。データ利用申請方法など、大学院学生からの相談にも応じています。